

施設名	老人保健施設千束	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団			
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
①業務内容	台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して昭和 6 1 年 1 0 月に設立した社会福祉法人である。					
②類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム浅草・特別養護老人ホーム谷中・特別養護老人ホーム三ノ輪					
③経営状況	(19 年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入 2,401,341,470 円,歳出 2,355,808,519 円,収支差額 45,532,951 円 [公益事業特別会計]歳入 361,979,008 円,歳出 340,218,519 円,収支差額 21,760,489 円					
<b>2. 施設の概要</b>						
①所在地	台東区千束 3-28-13					
②設置目的	介護を必要とする高齢者等に対し、福祉と保健医療とにわたるサービスを提供することにより、高齢者等の福祉の向上を図る。					
③利用者	病状が安定し、治療よりは看護や介護に重点を置いたケアが必要な要介護者					
④開館日・開館時間	通年、24 時間					
⑤規模	延べ床面積 6,733 m <sup>2</sup> のうち 2,914 m <sup>2</sup> 千束保健福祉センター内 鉄筋コンクリート造地上 7 階地下 2 階のうち 2 階の一部、3～6 階部分					
⑥人員体制	64 名(内訳)施設長(1)、管理課長(1)、支援相談員(2)、理学療法士(1)、事務員(3)、看護師(入所 4、通所(常 2、非 2))、介護職員(入所(常 20、非 6)、通所(常 5、非 2))、栄養士(1)、その他(1)、アルバイト(入所 10、通所 3)					
<b>3. 事業(サービス提供)の概要</b>						
①委託事業	施設サービス計画の作成、回診、機能訓練、健康管理、介護(入浴、排泄)、食事の提供、季節行事、地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。 施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。 等					
②自主事業	自主事業は行っていない					
<b>4. 施設の稼働状況等</b>						
○19 年度利用実績(延べ利用者数・利用率)						
	介護老人保健施設	短期入所療養介護	通所リハ	介護予防通所リハ		
延べ利用者数(人)	12,578	4,594	4,218	921		
総数(人)	17,172			5,139		
利用率(%)	93.8			82.9		
<b>5. 予算決算の推移</b> (単位: 円)						
年 度		17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
予 算	負担金補助及び交付金	118,676,000	108,660,000	95,774,000	104,035,000	
	料金収入等	251,033,000	262,112,000	263,681,000	264,956,000	
	管理経費	369,709,000	370,772,000	359,455,000	368,991,000	
決 算	負担金補助及び交付金	121,311,000	108,660,000	83,589,635		
	料金収入等	269,880,176	271,601,109	278,389,373		
	管理経費	343,605,338	348,785,744	340,218,519		
	収 支	47,585,838	31,475,365	21,760,489		

<b>6. 評価項目</b>	3：期待以上の成果が見られる。 2：おおむね期待どおりの成果である。 1：さらなる改善が必要である。 -：評価対象外項目
----------------	-----------------------------------------------------------------------

評価の観点	評価項目	
①事業の運営 平均 [2.0]	(1) 施設の目的達成 [2] (2) サービス水準 [2] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [-] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.4]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [2] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [3]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [3]
④歳入歳出 平均 [2.3]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費縮減のための取組み [3]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [2]

<b>7. 評価</b>	A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
--------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A	適切に事業運営が行われている。入所・通所ともに利用率も上昇しており、適切なサービス提供がなされている。
②施設の維持管理	A	各保守点検や清掃等、適切に実施されている。また、施設内の危険箇所や不具合箇所等を正確に把握し、安全確認を徹底している。
③利用者の満足度	A+	利用者満足度調査において高い評価を得ている。通所リハにおいては9割以上の利用者が施設サービスに満足しており、良好なサービス提供が行われている。
④歳入歳出	A+	利用率の上昇により料金収入が増額となると同時に、管理経費の縮減に努め、区補助金の削減につながった。
⑤総合評価	A+	全体的に良好な施設管理がなされ、収支についても管理経費の縮減に努めた。

### 8. 課題への対応等

建物の老朽化により空調設備などの不具合が多発しているが、適切に対応し、施設の維持管理に努めている。また、老人保健施設の在宅復帰率は8割以上と高く、利用率も上昇していることから、質の高いサービスが提供されていることがうかがえる。現施設における現指定管理者の指定期間の終了に伴う、区及び次期指定管理者への引継ぎを、利用者への影響がないよう円滑に行うことが必要である。

21年4月からは病院併設施設において新たにスタートするが、今後もサービス水準を落とすことなく、利用者本位の質の高いサービス提供に取り組んでいくことが求められる。